



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス  
 コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 昌徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 向田 泰久

TEL 075-441-2333

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,502	14.2	1,061	21.1	322	61.7	332	232.9	223	335.3
2020年9月期第1四半期	5,247	21.3	1,345	35.8	199	85.7	99	93.4	51	95.1

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 344百万円 ( 26.5%) 2020年9月期第1四半期 469百万円 ( 36.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	21.33	
2020年9月期第1四半期	4.90	

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費としています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第1四半期	31,966	22,624	70.8	2,157.02
2020年9月期	31,778	22,385	70.4	2,134.25

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 22,624百万円 2020年9月期 22,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		10.00	10.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	5.4	2,160	19.8	700	101.5	650	100.4	450	123.7	42.90
通期	21,500	12.5	4,740	13.3	1,500		1,500		1,100		104.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 有  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	11,368,400 株	2020年9月期	11,368,400 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	879,782 株	2020年9月期	879,782 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	10,488,618 株	2020年9月期1Q	10,484,573 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております。

(参考) 2021年 9月期の個別業績予想(2020年10月 1日 ~ 2021年 9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,300	3.2	1,110	4.0	350		550	593.3	450	870.3	42.90
通期	16,400	19.4	2,720	97.2	900		1,100		800		76.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各種政策により、経済活動の一部に持ち直しの動きが見られたものの、米中通商問題の長期化や、新型コロナウイルス感染症再拡大による影響への懸念により、国内外経済の先行きは不透明な状況が続いております。

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、中国への渡航制限の緩和により、遅延していた新規生産ラインの立ち上げが再開しました。また、在宅時間が増えたことで、TVやノートPCの需要が増加し、液晶パネル価格の上昇が続いたため、パネルメーカー各社は量産体制を継続しました。一方、フォトマスク市場につきましては、新規パネル開発の延期や計画見直しにより、開発用フォトマスクの需要が想定ほど増加しませんでした。

このような状況の中、当社グループでは、中国市場を中心に売上高が前第4四半期連結会計期間と比較して増加し、減価償却費の減少、プロダクトミックスの改善、費用の圧縮を進めたことから、利益を確保することが出来ました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高45億2百万円（前年同期比14.2%減）、EBITDA10億61百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益3億22百万円（前年同期比61.7%増）、経常利益3億32百万円（前年同期比232.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億23百万円（前年同期比335.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億87百万円増加し319億66百万円となりました。これは主に、現金及び預金や流動資産のその他が減少した一方で、受取手形及び売掛金や建設仮勘定が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し93億41百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、長期借入金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億38百万円増加し226億24百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことにより、2020年11月9日に公表いたしました、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。なお、通期の業績予想については、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,331,416	9,018,162
受取手形及び売掛金	3,940,395	4,756,530
商品及び製品	79,406	51,594
仕掛品	217,444	320,299
原材料及び貯蔵品	2,471,882	2,300,993
その他	704,251	478,769
貸倒引当金	△1,116	△1,591
流動資産合計	17,743,680	16,924,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,205,604	3,216,690
機械装置及び運搬具（純額）	5,852,577	5,672,135
土地	1,667,702	1,667,702
建設仮勘定	2,142,603	3,359,812
その他（純額）	184,569	168,855
有形固定資産合計	13,053,058	14,085,197
無形固定資産		
ソフトウェア	266,237	232,770
その他	242	4,531
無形固定資産合計	266,479	237,301
投資その他の資産		
その他	848,816	852,877
貸倒引当金	△133,273	△134,003
投資その他の資産合計	715,542	718,873
固定資産合計	14,035,080	15,041,373
資産合計	31,778,761	31,966,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,172,340	3,334,496
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	1,100,000
未払法人税等	27,538	71,267
その他	1,619,993	1,636,334
流動負債合計	5,919,873	6,142,098
固定負債		
長期借入金	3,350,000	3,075,000
役員株式給付引当金	36,925	43,200
その他	86,593	81,649
固定負債合計	3,473,518	3,199,849
負債合計	9,393,391	9,341,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,167,847	4,167,847
利益剰余金	14,559,610	14,677,455
自己株式	△976,008	△976,008
株主資本合計	21,861,171	21,979,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,326	204,121
為替換算調整勘定	379,425	444,401
繰延ヘッジ損益	△5,554	△3,355
その他の包括利益累計額合計	524,197	645,166
純資産合計	22,385,369	22,624,183
負債純資産合計	31,778,761	31,966,131

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,247,984	4,502,693
売上原価	4,479,281	3,628,221
売上総利益	768,703	874,472
販売費及び一般管理費	569,115	551,737
営業利益	199,587	322,734
営業外収益		
受取利息	1,605	445
不動産賃貸料	7,256	7,236
受取保険料	214	8,859
その他	4,419	3,568
営業外収益合計	13,494	20,110
営業外費用		
支払利息	1,220	5,113
為替差損	107,371	993
不動産賃貸原価	4,635	4,124
その他	89	494
営業外費用合計	113,316	10,725
経常利益	99,765	332,119
特別損失		
固定資産除却損	62	1,309
特別損失合計	62	1,309
税金等調整前四半期純利益	99,703	330,809
法人税、住民税及び事業税	67,646	56,897
法人税等調整額	△19,329	50,222
法人税等合計	48,316	107,119
四半期純利益	51,386	223,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,386	223,690

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	51,386	223,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,794	53,794
為替換算調整勘定	375,887	64,975
繰延ヘッジ損益	11,007	2,198
その他の包括利益合計	417,688	120,969
四半期包括利益	469,075	344,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,075	344,659



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社グループの機械装置の減価償却方法は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。これは、当社グループの設備投資の見直しを契機として、機械装置の使用実態を検討した結果、フォトマスクの技術革新が鈍化し市場が成熟化していることを勘案し、安定的かつ定期的に設備維持のための更新投資を行い、今後も安定的な利用を見込むため、その使用便益が平均的に費用配分される定額法によることが、使用実態を適切に反映すると判断したことによるものです。

この結果、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ110,384千円増加しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前第1四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険料」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた4,633千円は、「受取保険料」214千円、「その他」4,419千円として組替えております。

(会計上の見積り)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を反映した今後の業績見通し及び将来収益力等を勘案した結果、当第1四半期連結累計期間においても引き続き繰延税金資産を計上しております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、少なくとも2021年9月期まで継続し、2022年9月期以降は段階的に縮小するものと仮定し、上記の見積りを行っております。